

ペイパル・ホールディングス(PYPL)

利益率向上と新たな市場・収益源開拓の両立へ、インテュイット出身クリス新 CEO の経営手腕に期待

ナスダック | データ・トランザクション処理 | 業績フォロー

BLOOMBERG PYPL US | REUTERS PYPL.N

- 2023/12期3Q(7-9月)は、営業収益が前年同期比8.4%増、調整後EPSが同20.4%増。調整後営業利益率、フリーキャッシュフローも改善。
- 通期会社計画を上方修正。足元の業績は堅調に推移も株価反転は見られず、予想PERが割安水準とバリュートラップから好機の可能性もあろう。
- クリス新CEOは中小企業・自営業者向け会計サービスで長年の経歴。利益率向上と新たな市場・収益源開拓の両立への経営手腕に期待。

What is the news?

11/1発表の2023/12期3Q(7-9月)は、営業収益が前年同期比8.4%増の74.18億USD、非GAAPの調整後EPS(1株当たり純利益)が同20.4%増の1.30USD。決済総額(TPV)が同15.1%増の3877億USDと拡大。稼働口座数は同0.9%減の4.28億口座も、顧客とのエンゲージメント(信頼関係)の深まりを示す1稼働口座当たり直近12ヵ月間の決済件数(TPA)が同13.0%増の56.6件へ伸長した。利益面では、販売管理費や技術開発などに係るコスト管理を強化したことを受けて、非決済取引に係る営業費用が同12%減少。調整後営業利益率が同0.2ポイント低下の22.2%へ改善した。これを受けて、欧州において「BNPL(後払い決済)」のローン売却目的保有(HFS)とする会計基準変更の影響を除いた調整後フリーキャッシュフロー(FCF)は同21.5%増の19.11億USDと財務面の強化が示された。

前四半期比は、稼働口座数が0.7%減ながらも営業収益が1.8%増、調整後EPSが12.1%増、TPVが2.9%増、TPAが3.5%増加、調整後営業利益率が0.8ポイント上昇、調整後FCFが▲3.50億USDからの黒字転換と、足元の改善基調が鮮明となった。

How do we view this?

通期会社計画を上方修正。調整後EPSを前期比21%増の4.98USD(従来計画4.95USD)とした。同社株価は、足元の業績が堅調に推移するなかで2021年7月の過去最高値から80%以上下落した水準で推移している。その背景には、大口取引先だった大手EコマースのeBay(EBAY)のペイパル決済から離脱による収益減少、および新型コロナ禍時の巣ごもり特需を受けて株価が人気が高まったことの影響が続いていることがある。底堅い収益推移にかかわらず株価軟調により、11/13終値の予想PER(株価収益率)が11倍近辺と割安水準にあることは投資好機の面もあろう。

9/27に就任したクリス新CEOはクラウド会計ソフト大手インテュイット(INTU)で長年、中小企業・自営業者向けサービスに携わってきた経歴がある。同氏は「利益ある成長」を掲げており、個人向けが主流だった同社製品の新たな市場および収益源の開拓と利益率向上の両立に向けた経営手腕が期待されよう。短期的には米国消費の継続的な力強さ、旅行や体験への消費意欲の高まりが追い風になると見込まれよう。

業績推移

※参考レート 1USD=151.72円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高(百万USD)	21,454	25,371	27,518	29,621	32,148
当期利益(百万USD)	4,202	4,169	2,419	4,076	4,472
EPS(USD)	3.54	3.52	2.09	3.76	4.29
PER(倍)	15.36	15.45	26.02	14.47	12.68
BPS(USD)	17.08	18.60	17.85	19.15	23.18
PBR(倍)	3.18	2.92	3.05	2.84	2.35
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD)	0.00	(予想はBloomberg)
終値(USD)	54.39	2023/11/13

会社概要

1998年設立の電子決済企業。2002年にオークションサイトのイーベイ(EBAY)に買収されて子会社となったが、2015年に独立した。

同社は、世界中の消費者および販売者に代わってデジタルおよびモバイル決済を可能にするテクノロジープラットフォームおよびデジタル決済会社として運営されている。

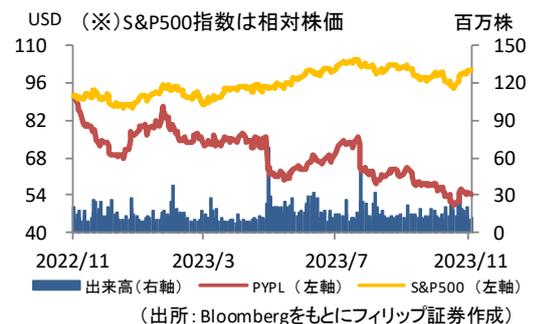
その支払いソリューションには、PayPalやPayPal Creditに加え、電子商取引企業向けのモバイルおよびウェブ決済システムを提供する米Braintree、個人間送金アプリの米Venmo、電子送金プロバイダーの米Xoom、およびスウェーデンの決済プラットフォームであるiZettle製品が含まれている。

同社の支払いプラットフォームでは、消費者が支払いを送受信し、銀行口座から資金を引き出し、PayPalアカウントの残高を100以上の様々な通貨で保持および決済に利用することができる。

また、加盟店がクレジットカードまたはデビットカードやデジタルウォレットを使用してオンラインで支払いを受け付けることができるゲートウェイサービスも提供しており、支払先にクレジットカード番号を教えることなく、安全かつ迅速に支払いができることで定評がある。

企業データ(2023/11/13)

ベータ値	1.42
時価総額(百万USD)	58,640
企業価値=EV(百万USD)	58,329
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	864.6



主要株主(2023/11)	(%)
1.VANGUARD GROUP	8.20
2.ブラックロック	6.59
3.ステート・ストリート	3.81
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)	

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。